

第71回秋田市中学校総合体育大会 令和4年度 秋田市中学校柔道大会要項

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 秋田市中学校体育連盟 秋田市教育委員会
- 3 主管 秋田市中学校体育連盟柔道専門部
- 4 後援 (一財)秋田市スポーツ協会 秋田魁新報社
- 5 会期 令和4年6月18日(土)・19日(日)
【競技日程】 6月18日(土) 開 場 8:00
団体戦計量
・非公式 8:00～8:30
・公 式 8:30～9:00
審判・監督会議 9:00
開 会 式 9:30～
競技開始 10:00～
・男女団体戦
団体戦表彰式 団体戦終了後
個人戦計量 団体戦表彰式終了後

6月19日(日) 開 場 8:00
個人戦計量
・非公式 8:00～8:30
・公 式 8:30～9:00
審判・監督会議 9:00
開 始 式 9:30～
競技開始 10:00～
・男女個人戦
閉会式 個人戦終了後
- 6 会 場 秋田県立武道館柔道場(競技会場)
〒010-1623 秋田市新屋宇砂奴寄2-2 TEL 018-862-6651
- 7 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する中学校※に在籍し、本連盟に加盟している中学校の生徒で、競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
※本連盟では、「中学校」とは中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中等部とする。
(2) 参加生徒は、学校代表としてふさわしく、また、事前に健康診断を受け、日常健康観察の結果異常のない生徒であること。
(3) 保護者の同意を得た生徒であること。
(4) 過年齢生徒の参加については、体力的・技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達する年度まで出場できるものとする。
- 8 引率者及び監督等 (1) 引率者及び監督は出場校の校長・教員(非常勤を除く)・部活動指導員とする。ただし、部活動指導員は教育委員会設置要綱のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会で登録できる学校は1校のみであること。
① 満20歳以上であること。
② 主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。
③ 次のいずれかに当てはまる者とする。
ア 教育職員免許法に基づく免許を有する者。
イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修を受講している者。
※ここでいう「部活動指導員」は学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者をいう。
(2) コーチについては、校長が認めた者とする。ただし、当該校の校長・中学校教職員・部活動指導員が他校のコーチとしてベンチに入ることは認めない。また、同一人が複数校のコーチにはなれない。
※内部コーチ・・・当該校教職員(非常勤を除く)・部活動指導員。
※外部コーチ・・・校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に部活動の指導に当たっている者。
(3) 本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・コーチ等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていない者であることとする。校長は、この点を確認して、大会申込書を作成する。
(4) 出場校に当該競技部活動が設置されていない場合については、個人種目に限り別紙「秋田市中学校体育連盟主催大会の引率・監督細則」に基づき、特例を認める。
- 9 参加人員 (1) 団体戦は各校から男女各1チーム出場することができる。
① 団体戦のチームは、1校単位で編成したチームとする。
② 男子チームの人員は、監督1名・コーチ1名以内・選手8名以内とする。
③ 女子チームの人員は、監督1名・コーチ1名以内・選手5名以内とする。

(2) 個人戦は男女とも8階級とし、体重区分は次のとおりとする。

① 男子	5 0 kg級(50kg以下)	5 5 kg級(50kg超55kg以下)
	6 0 kg級(55kg超60kg以下)	6 6 kg級(60kg超66kg以下)
	7 3 kg級(66kg超73kg以下)	8 1 kg級(73kg超81kg以下)
	9 0 kg級(81kg超90kg以下)	9 0 kg超級(90kg超)
② 女子	4 0 kg級(40kg以下)	4 4 kg級(40kg超44kg以下)
	4 8 kg級(44kg超48kg以下)	5 2 kg級(48kg超52kg以下)
	5 7 kg級(52kg超57kg以下)	6 3 kg級(57kg超63kg以下)
	7 0 kg級(63kg超70kg以下)	7 0 kg超級(70kg超)

10 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定2022～2024（2022年4月1日施行のルール）及び国内における「少年大会特別規程」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (4) 女子の有段者は、白線なしの黒帯を使用すること。

11 競技方法

- (1) 団体戦
 - ① 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 - ② 男子は予選リーグ方式及び決勝トーナメント方式により優勝を決定する。
 - ③ 女子は参加チーム数により、いずれかの方法で優勝を決定する。
 - ア リーグ方式
 - イ トーナメント方式
 - ④ チーム編成は、男女共に最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手の入替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
 - ⑤ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
 - ⑥ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。
 - ⑦ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」

- ⑧ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回を行い、勝敗を決する。
(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行い、勝敗を決する。)
- ⑨ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑩ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

- ① 男女共に各階級の出場者が5名以下の場合はリーグ方式、6名以上の場合はトーナメント方式を行う。
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- ④ リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」>「GS勝ち」

- ア 勝ち数による
- イ アにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
- ウ イにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
- エ ウにおいて同等の場合は、抽選によるトーナメント方式を行い、勝敗を決する。

12 計量・
柔道衣検査

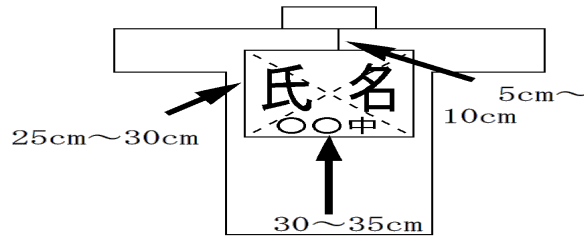
(1) 【計量】

- ① 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
- ② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- ③ 個人戦の公式計量は、個人戦前日に1回、個人戦当日に1回それぞれ時間を設定し、どちらかで合格すると試合に出場することができる。
- ④ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。但し、特別な事情（公共交通機関の乱れ等）がある場合には、あらかじめ監督を通じて大会委員長に連絡すること。
- ⑤ 公式計量の服装については、次の通りとする。
団体戦・個人戦とも、男子は下穿き、女子は、試合用Tシャツと下穿きとする。なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。個人戦においては計量時、下穿等を身に付けずに計量してもよい。その際は別室計量とする。
 - ア 団体戦
 - (ア) チームごとに選手全員が測定を行うこと。
 - (イ) 計量において、不正・偽装行為などが競技役員によって確認された場合、当該学校を失格とする。
 - イ 個人戦
 - (ア) 定められた階級の体重区分にないものは失格とする。
 - (イ) 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。
- ⑥ 計量において、不正・偽装行為（競技役員の指示なく、体重計から降りる等）が競技役員によって確認された場合、団体戦では該当校を、個人戦では該当選手を失格とする。

(2) 【柔道衣点検】

- ① 試合当日、試合場整列時に審判員が目視にて行う (IJF マーク含)。
- ② 現行の (公財) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣 (上衣・下穿き・帯) を着用すること。(新規規格の赤色のマーキングのもの)
- ③ 柔道衣に必ずゼッケン (学校名・名字入り) を縫い付けて出場すること。
 - ア 布地は白 (晒, 太綾)
 - イ サイズは横 30 ~ 35 cm, 縦 25 ~ 30 cm とする。
 - ウ 名字 (姓) は上側 2 / 3, 学校名は下側 1 / 3 とする。
 - エ 書体は太字ゴシック体 (明朝または楷書でもよい) とする。
 - オ 文字色は, 男子が黒色, 女子は濃い赤色とする。
 - カ 縫い付け場所は襟から 5 cm ~ 10 cm 下部の位置で, 周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ④ 女子は, 上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地の T シャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※ T シャツのマーキングについては (公財) 全日本柔道連盟が定める規定 (平成 25 年 4 月 1 日より施行) に準ずる。
- ⑤ 試合時に着けるサポーター等は計量時に確認してもらうこと。

【例】



13 表 彰

- (1) 団体戦優勝チームには優勝旗と賞状を授与する。
- (2) 団体戦準優勝チーム及び3位のチームには賞状を授与する。
- (3) 個人戦は, 第1位から第3位までの選手に賞状を授与する。

14 参加申込

- (1) 別紙参加申込書に必要事項を記入の上, 申込先へ申し込むこと。また, 令和4年6月6日 (月) 必着とする。ただし, 専門部会に持参可とする。
- (2) 5月27日 (金) までに所定のファイルに入力の上, 校務支援システムまたはEメールにて, 次の申込先へ添付ファイルにて送付すること。

【申込先】〒010 - 0041 秋田市広面字鍋沼17番地
秋田市立城東中学校 担当 鈴木 雄大
TEL 018-834-9281 FAX 018-834-9297
E-mail suzuki-yuudai@edu.city.akita.akita.jp

15 抽 選

令和4年6月6日 (月) 14:00 ~ 秋田県立武道館第3会議室にて各チーム代表者により抽選を行い, 組合せを決定する。

16 県大会出場枠

団体戦は男子4校, 女子はオープン参加とする。個人戦は男子上位6人, 女子上位4人とする。ただし, 地区大会において階級の出場者の合計人数が18名に満たない場合, その階級はオープン参加とする。

17 そ の 他

- (1) 観客については, 新型コロナウイルス感染症予防及び感染拡大防止対応が必要な場合は, 別に定める専門部申し合わせ事項に基づく許可制とし, 一般の方の会場への入場を制限する。
- (2) 大会参加者 (選手・役員) 以外の観客 (来場者) についての取扱は, 市中体連HPに随時更新していく。
- (3) 新型コロナウイルスの感染状況等によって, 競技方法や競技日程, 部員や保護者の応援等について変更になる場合があるので, その際は本部の指示に従うこととする。
- (4) 申込に使用する漢字は原則として常用漢字・人名用漢字とし, プログラム掲載も同様とする。ただし, それ以外の漢字の使用を特に希望する場合は専門部へ相談すること。
- (5) 荒天や自然災害, 緊急事態等の発生により, 本要項に記載する競技日程どおりに開催できず, 上位大会への代表選考が困難な場合は, 別に定める本専門部申し合わせ事項に基づき代表選考を行うこととする。
- (6) 大会の主催者は, 個人情報保護に関する法令を遵守し, 別紙「秋田市中学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき, 取得する個人情報について適正に取り扱う。また, 取得した情報は, 競技大会の資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・報道取材・記録発表 (記録集) 等のほか, 競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意する。しかし, 同意が得られない事情がある場合は, 各郡市中学校体育連盟を通して, 秋田市中学校体育連盟及び専門部会へ連絡をし, 適切に対処する。特に申出がない場合は上述内容を承諾したものとす。
- (7) 観戦者における競技会場内又は応援席や駐車場等, 会場周辺の事故, 破損等については, 大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故等は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。
※「会場周辺の事故」には, 競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や, 風や雪, 雷等, 天候の影響で起こった場合も含む。
- (8) 監督・コーチの服装は審判員に準じた服装とする。
- (9) 監督・コーチは, 別紙「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し, 大会に参加すること。
- (10) 皮膚真菌症 (トングランス感染症) については, 発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい, もしくは感染が判明した選手については, 迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は, 大会への出場ができないこともある。
- (11) 脳震盪対応について, 選手及び指導者は, 次の①~④の事項を遵守する。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は, 脳神経外科の診察を受け, 出場の許可を得ること。
 - ② 大会中, 脳震盪を受傷した者は, 継続して当該大会に出場することは不可とする。なお, 至急専門医 (脳神経外科) の精査を受けること。
 - ③ 練習再開に際しては, 脳神経外科の診断を受け, 許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局及び (公財) 全日本柔道連盟に対し, 書面により事故報告書を提出すること。

18 連絡先

〒010 - 0041 秋田市広面字鍋沼17番地 秋田市立城東中学校
Tel 018-834-9281 FAX 018-834-9297
秋田市中学校体育連盟柔道専門部委員長 鈴木 雄大